

中 東
玉 便

今一生懸命

11号

生徒会
スローガン
閃
ひらめき

発行 島 士
責任 中 恒
校 長

人権学習を学んで

大塚 正暁

僕は「私の選択」を読んで、自分も春子さんのような経験があったことを思い出しました。中学生に入ったある日のこと、僕は友達と志望校の話をしていました。僕が志望校を言ったとき、その友達は「でもそこってちよつと外れた人が行くところやけん頭だけやろ」と言いました。僕はそのとき、小学校の頃から決めていた志望校全体を馬鹿にされたような気がして腹が立ちました。確かにそこは熊本県内でもレベルは高い方ではあります。僕はそこで初対面でも優しく声をかけてくれた人やそこで学んだことを将来にしっかりと繋げることができ成功を収めている人がいることを知っています。そこで、「誰によか高校、悪か高校か決める資格があつとばいね」と話の中の春子さんが言っていた北野先生の言葉と共通する部分がありました。そして僕はこの学習をして、そこに合格し、将来を成功することができるよう自分の心ともう一度向き合いたい、どんな将来を望んでいるかを考え、志望校でしたいことと将来したいことが合っているかをしっかりと確認し、目標を再確認することができた。その目標に向かってさらに受験勉強のギアを上げ、幸せな人生を自分自身で作りたいと思えました。これからいろいろな人と会っていろいろな意見を聞くことがあるけど、あくまでも自分の人生の助言として捉えて参考にする程度にしようと思いました。何かを選んだということでは何かを選ばなかったという決断をしたということでは皆さんともあと一、二年後または現在でその「何か」を選ぶ、選ばないという決断を迫られます。僕は自分の人生は「大きなパズル」でそれをいろんな人と自分で作り上げて最後は壮大な思い出という絵になるのだと思っています。しかし、その「いろんな人」を決めるのは自分自身です。結局ピースをはめるのは自分自身です。誰もが主役というわけではありません。自分の人生の傍観者にならずに苦しいことをやり遂げたなら幸せな人生が見えてくるのではないのでしょうか。

人権集会を二回開催。人権子ども集会を視聴・人権学習を学んでの感想と意見発表、返しの言葉

一年生「山の粥」二年生「西光万吉」三年生「わたしの選択」学習後の感想意見発表に対しての返しの言葉は、次の通りです。
・私も自分の人生の傍観者には、なりたくない。
・人によって「いい高校」の基準は違うから自分の基準を相手におしつけない。
・無意識のうちに、頭のいい高校がいいる高校と決めつけていた。その固定概念を覆す。
・親の意見に従って生きてきた。これから自分の人生なので、自分の意思をしっかりと持ちたい。
・差別の心は自分にあることを知った。改めたい。
・自分だけのことではなく、友人や家族のことまで考えているって凄いなと思う。
・私も気づかないところ。自分が差別者だとも今まで気づいていない。自分が差別者だと今まで気づいていないことが恐ろしい。今からリベンジしたい。



校内駅伝競走大会盛り上がる2年生の優勝 PTA・役員チームも激走

十九日快晴下で校内駅伝大会を開催しました。一学年をA・B二つに分けて十二チームで競い合いました。PTA・役員チームも参加して二年生が活躍しました。一時は二年生が役場チームを追い抜きました。皆一生懸命に走り抜きました。ご協力に感謝！



お茶でインフル撃退。茶葉をください。

インフル予防の為に茶葉をいただくのを励行。町教委からも予算化していただきたき、更に茶葉もいただきました。ご家庭で不要な茶葉は、ありませんか。よろしかったらご協力ください。全校一丸でインフル撃退です。

松尾レディースクリニック院長 先生による性教育講話

十五日、二、三年生を対象に性教育講演会を開きました。「自他を大切にしたい」との関わり及び性の多様化について「が」チームでした。望まない妊娠など自分を大切に生きる方々の御講話でした。玉東中学校のめざす資質能力の中に「はつきりと伝える力」があります。自分自身の意思を明確に伝える方法。そこそこの幸福。方法。かもしれ

